ご支援をよろしくお願いしたて住み続けられる伊勢崎市のではみ続けられる伊勢崎市のではいして、よりと発言・提案し、大はっきりと発言・提案し、大はっきりと発言・提案し、大はっきりと発言・提案し、大きになっきり

市議会議員 **北島 元雄**り願いします。大きなら動情市のために頑張ります。大きなどかして、高齢者も若い世代も安心し

NOI

るために全力で取り組んできました

市民の皆さんに寄り添いながら

緒に市政を前に進め

市民の立場でダメなものはダメと

市政の様子を市議団ニュースはダメと、良いものは良いと

していただき共に悩み、解決の手立てを考えてきました。

変な人が増えています。

ひとりも取り残される人のない

暮らしや営業が大

コロナ禍はあらためて身近な市政の役割を痛感する

લ્યુ

でも市民

の味方

北島元雄プロフィール

- ●1951年波志江町生まれ。
- ●1970年勢多農林高校卒業後農業に従事。
- ●三郷保育園保護者会長・伊勢崎市PTA連合会会長など を歴任。
- ●1991年市議会議員初当選。現在8期目。
- ●農事組合法人波志江北部理事。
- 市議会経済市民常任委員・幹線道路整備調査特別委員。
- ●日本共産党伊勢崎佐波地区委員長。
- ●波志江町3626。携帯090-4065-2120。
- ●家族は妻、独立した2男1女と孫4人。

活動の紹介



「車に乗れなくても安心してくらせるまちに」の署名を市長に提出(左から市民団体の皆さん、臂泰雄市長、北島・長谷田市議)。新年度からの高齢者タクシー券の条件緩和など、前向きの回答がありました。



?市懇談に同席と勢崎佐波社会保障推進協議会の



いせさき民報

ご意見・ご感想をお寄せください。 2022年2・3月号外 発行/日本共産党伊勢崎佐波地区委員会 〒372-0032 伊勢崎市北千木町2087 電話 25-4854/fax 24-8204



日本共産党

伊勢崎市議会議員

は島元雄

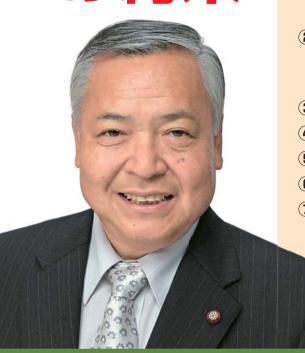
市議団スログ



北島 ツイッター



北島元雄の



みなさんと力を合わせ実現目指します

- ①コロナから市民の命と暮らし、営業を守る市政
 - ・いつでもだれでも無料でPCR検査が受けられる体制。
 - ・くらしの厳しい世帯や事業者へ継続的な支援の実施。
 - ・フードバンク、子ども食堂などボランティアまかせにしない。
- ②公共交通の充実で安心して暮らせる伊勢崎市へ
 - ・高齢者タクシー券の対象や枚数の拡大。電話で予約すると迎えに来るデマンド 交通の導入など。
- ③学校給食費の無料化、高校卒業までの医療費無料化
- 4国民健康保険税の子どもや障害者の均等割廃止、介護保険の負担軽減
- ⑤市民や利用者の声を無視した公共施設の削減計画の中止
- ⑥小規模企業振興条例をつくり地域の産業を守り、発展させる
- ⑦通学路の安全対策、歩行者・自転車・車椅子にやさしい道路を
 - ⑧ジェンダー平等の伊勢崎に
 - ・政策決定の場の女性比率向上。パートナーシップ制度確立など。

前は他におらず大変目

しばらくは

る人も増えたが、

今は朝の辻立ちをす

- ⑨防災と環境に強い伊勢崎市に
 - ・防災対策・避難体制の確立・強化。地球温暖化防止計画の改定と充実。

太めの北さん



私は太めの北さん が好きだ。おおらか で、豪快で、繊細さ を持っている。議会

を傍聴した方ならご存じだと思うが、優 しそうな顔つきが議場に立つと変わる。 質問、再質問、再々質問と厳しく食い下

がる姿は実に頼もしい。

私は病気で運転免許を返上しましたが、せがれと同居のた め高齢者タクシー券は交付されません。このような冷たい対 応を議会でも取り上げ、昨年は共産党議員団が協力し、たく さんの署名を集め市長に申し入れました。こうした取り組み が実り、新年度から交付対象の拡大が実現するようです。

議会で要望するだけでなく、市民の声を集めて市民とタッ グを組んで市政を前に進める北さんの活動スタイルこそ、市 議会議員の真骨頂です。

北さんも議員として31年、ベテラン議員となりました。世 帯交代あり、若手新人ありで激戦が予想されます。こういう 時こそ、経験豊富なベテラン議員が必要。市民の生活の守り 手として、どうしても必要な議員です。

大澤 勝幸

「北さん」ってどんな人? 北島元畑 さんはこんな人!

に市議選に。

参加

「市民の声



の利益は守れません。 なるかどうか?」が判断基準。

甲役所敷地より広い水道庁舎用地の購入など、 巾民の立場で筋を通し 同齢者も若い 人も安心なまちへ

もと、 括支援センター 進めてきました。 援センター) を9ヶ所にし、 料化など、皆さんと一緒に の充実や子どもの医療費無 市内1ヶ所だった地域包 共働きの子どもたち 放課後児童クラブ (高齢者支

の子どもは自分で育てるの 「何でも賛成」では市民 ース場外車券売り場、 「市民の利益に 市政 0

所を統廃合して大幅に減らす計画が発表され、 育メンにはほど遠いが、 3人の子 育て中PT 幼稚 ・ 保育

減で子ども達のことを考えない く市政に」の願いを胸

経費削

安全な食料と緑の大地

のテーマソングです。

その会長を務めました。

「学校農業クラブ」

が「♪みのる稲穂に富士と鳩」と歌うシーンが何度か

彰も受けた。養蚕業は衰退、 「安全な食料は日本の大地から」が原点。 家業の養蚕農家となり、 繭の生産量が伊勢崎 今や世界遺産に。 田

を作っては飯を食えない」状況。食料を自国でつくら

今年は60キロ8千円の仮渡し価格で、まさに

ス以外はほとんど人頼みだが、

ルの米を作

って

一米

対策も待ったなし。

緑の大地は国の宝です。

ません。人類の危機、

地球温暖化

信じられない 高校は勢多農林高校へ。 朝ドラの チェロを弾き 「なつぞら」で十勝農業高校の演劇部 部活は農業高校生のオー カラオケで音程を外す私

等を夜まで

ケス

部活動はオ 運動神経の鈍さはこの頃から。 -学校を卒業。

波志江生まれ波志江育ち 波志江に生まれ 歳4か月でやっと歩けるように。 丘の上の三郷